THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2019-2020)
国際会長主題 ："Building today for a better tomorrow"「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長主題："Action！"「アクション！」
西日本区理事主題：「風になれ、ひかりとなれ」－「こころ豊かにあるために、輝くために」－
中西部部長主題："We can do it!" 「為せば成る」
クラブ会長主題："With my pleasure, I serve !"「はい、喜んで！」

Monthly Bulletin
第 280 号
2020 年 5 月

聖書のことば

いかに幸いなことか
神に逆らう者の計らいに従って歩まず
罪ある者の道にとどまらず / 傲慢な者と共に座らず
主の教えを愛し / その教えを昼も夜も口ずさむ人。
その人は流れのほとりに植えられた木。
ときが巡り来れば実を結び / 葉もしおれることがない。
その人のすることはすべて，繁栄をもたらす。

詩篇 1 編 1～3 節

選者　江見　淑子

5 月第 1 例会は休会です

みなさん，
各自それぞれの場で，メンバーみんなの顔を思い浮かべながら，楽しい例会風景を想像してみませんか？
こんな例会！　あんな例会！

4　月　統　計
第 1、第 2 例会共中止につき、計測不能

なかのしまワイズの思い出

大橋　昌美

大橋昌美さんは、この 4 月より堺の青少年センターに異動となられ、我々なかのしまの連絡主事を退任されました。

2015 年 4 月より私がなかのしまワイズの担当となり、丸 5 年間が経ちました。もう 5 年もみなさんとご一緒に活動していたことを考えると、本当にあっという間だったような気がします。

最初は初めてのワイズ担当ということもあり、「どうしたらいいのか、ちゃんとできるのか」など心配と不安でいっぱいでした。しかし、メンバーのみなさんは私を温かく迎え、また娘のように関わってくださり、本当に楽しく活動できたと感謝しています。

この 5 年間をいろいろと思い出す中で、なかのしまワイズの 20 周年という節目を迎えることができたことはとても大きなことでした。第 2 例会ごとにみんなで様々な話し合いをし、一つ一つ丁寧に準備をしていくことで、本当に温かい素敵な 20 周年記念を迎えることができたと思いますし、またみなさんのこれまでの活動の歴史を深く感じることができたと思います。

私が所属していたシニア事業の時から日本語学科の時まで、様々な YMCA のプログラムにもたくさんご協力いただき、特に高校生との世代間交流プログラムでは、一緒に六甲山 YMCA で宿泊し高校生とともに語らうというとても貴重な時間を過ごすことができました。また日本語学科での留学生との交流プログラムでも、着付けや茶道レクチャーなどの私からの無理なお願いにも快くご協力くださり、感謝でいっぱいでした。

ちょうどこの春の季節に行った中之島や堺への楽しかった野外例会をまた思い出すと、この 4 月より担当を離れることは本当に寂しく思いますが、みなさんとのこの出会いを大切にし、ぜひこれからも何か違う形でつながり続けることができたらと思います。私を忘れないでくださいね(笑)。5 年間本当にありがとうございました！

歴代の部長さんに聴きました！

前月号で紹介したように、次期は、なかのしまから、部長さん主任さんが出てそれぞれご奉仕されますが、なかのしまでは、過去に部長２名、主任（それも全て「地域奉仕・環境事業主任」）３名の方々がお働きくださっています。どんな気持ちでなさったか？どんなだったか？やってよかった？などをお聴きしてみることにしました。まず歴代部長さんから

杉浦　眞喜子

私が中西部長をしたのは、2003 年～2004 年、大野嘉宏さんが理事でした。標語を「分かち合い共に歩むワイズ」としました。

私はワイズ活動の原点は「クラブの活動」にあると思っていましたので(今もそう思っていますが)、まず各クラブに「マンスリーレポート」の提出をお願いしました。ご自分のクラブの有り様を常に検証していただきたかったからです。さらにそのそれぞれのクラブの活動を、中西部の仲間みんなで分かち合うことができたらとの思いから、「マンスリーレター」の発行を始めました。その頃は未だメール等が今ほどは普及していなかったので、プリントアウトしてメンバーに配っていただけるよう、必ず両面印刷 1 枚に収めるよう A4 2 ページにこだわりました。

もう一つの私のこだわりは中西部会、どうしても六甲山 YMCA で、その中でキャンプファイヤーもしたいと強く思っていました。この私の夢を、なかのしまのみんなが周到な計画と準備で実現してくださいました。ちょっと寒かったけど、キャンプファイヤーを囲みながらみんなで歌うユニークな楽しい部会となりました。

この部会のことに限らず、なかのしまのみんなは常に私をサポートしてくださいました。期の終わりの西日本区大会で、なかのしまクラブは「最優秀クラブ賞」を、私自身は「理事特別賞」を頂きました。なかのしまのみんなの協力がなければ、私の中西部長はありえなかった、これらの賞がこのことをしっかり物語ってくれたと今も思っています。

どうぞよろしく！

古谷　佳之です

この度、連絡主事を拝命することとなりました古谷佳之(ふるやかつゆき)と申します。大阪 YMCA 国際専門学校日本語学科へ 2020 年 3 月に入職したばかりの新入ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

ただ、新人とは申しましたものの、2018 年 12 月までの 15 年間は神戸 YMCA にて勤務しておりましたので、YMCA スタッフとしては中堅といったところでしょうか。この間、予備校や専門学校といった教育部門や指定管理部門などで勤務し、うち 3 年間は京都 YMCA にも出向していました。

神戸 Y 時代にはチャリティーランやバザーなどでワイズメンの皆さんと協働させていただくことも多く、その中で多くの出会いや学びの機会に恵まれたことは、今の自分にとって大きな財産となっています。

これからは、皆さまと共にクラブを盛り上げ、私が担当する専門学校の学生にとっても有意義な機会が与えられればと願っています。

皆様とお会いできる日を楽しみにしています！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

江見　淑子

チャーターしたものの、右も左も分からない内にクラブ会長を経て、2012～2013 年度に「部長」になりました。誰かが引き受けないと困るとの思いだけでした。

有能なキャビネットに支えられましたが、西日本区の仕事は多岐にわたっています。何が困ったかと言うと、自分のクラブはともかく、中西部の９クラブのことが殆ど分らなかったのです。まずクラブ同士が分かり合うことが一番必要でした。一緒に働くことが名案だと思い、中西部全体で取り組めるイベントを計画しました。あんなに一生懸命したのに、イベントの名前すら思い出せません。「ワイワイ祭り」だったかしら。

９クラブの代表が計画実施のために何度も話し合いましたが「何でこんなことすんの？」から始まる始末。皆さんの責任感に寄りかかり、仕事分担をして協力し、成功裡に終わり（出た！なかのしまの自画自賛)、次第にクラブの特徴がよくみえてきました。センテニアルクラブにも助けられましたが、なんと言ってもなかのしまメンバーがよく働きました。東北のわかめや物産を販売し、東北支援ができたかな、とも思いました。それも少し前に東北の被災地を訪ねた成果です。私はなかのしまメンバーのこの時のエネルギーと自主的に働く意欲に感動しました。

あれからもう何年？みんな年を取りましたがこの記憶は宝です。部長をしたからワイズという組織がわかり始めたと振り返ります。

私の好きな讃美歌　【11】

國友　朝子

私が讃美歌をいちばん美しいと思うときは混声四部合唱でうたわれたときである。ソプラノは天使の声、バスは神の声、と感じている。間にはいるアルトやテノールは人の声だ。それらが相まって天井の高い教会堂に響くとき、私の身体にはさーっと電流のような波が走る。ああ、なんて気持ちが良いのか！

映画「我が恋は終わりぬ」ご存じリストの恋物語。恋人であるロシアの公爵夫人が、領民のために教会でリストのパイプオルガンを聴かせるシーンがあった。文字通り天上から降りそぐ音楽。聖歌があったかどうか記憶にはないが、領民たちはきっと神をあがめる気持ちを持ったであろうと思う。荘厳なシーンだった。

外国では讃美歌をラテン語でうたうことはあるのだろうか。私は「音」に関心を持つことからラテン語の響きがなんとも言えず心地よいと思っている。特に、カトリック教会での祈りの言葉が。司祭様のバリトンが高い天井に響き、蝋燭が瞬き、薫り高い香がくゆる瞬間が。

讃美歌の言葉は詩歌である、と讃美歌の本には書いてある！ほんとうだ。詩歌なのだからあえて下に降りてこなくていいのだ。こちらが努力して美しい言葉、美しい響きに近づく。そして私たちは一途に歌う。

66 番を混声四部合唱で聞きたい、歌いたい。310 番は高校時代の思い出。美しいソプラノでクラスメイトが礼拝の時に歌ってくれた。320 番、信仰を持たない私でも心を打たれる曲。510 番はしみじみ良い歌。ふとした折に自然に口ずさんでいる。そして 520 番。横浜の世界大会、聖歌隊で歌った。楽しい経験だった！

４月第２例会報告抄

持ち回り（メールでの）、会長からのアジェンダ送信にメンバーみんなが承認しました。

1. ミャンマー無料診療所支援について
   中村隆幸メン、５月にミャンマーへ行かれる予定が、コロナウイルス感染拡大のため現在のところ中断、渡航可能になり次第支援金を託す予定。
2. 下記次期中西部キャビネットの変更が報告された。
   書記：生雲文枝　　会計：保田圭子
3. 下記次期クラブ書記の変更を承認した。
   書記：生雲文枝、武井和子
4. H グランヴィアのなかのしま担当が田村敬子さんに変わったとの報告あり。

◇5 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
杉浦　眞喜子　８日

〇〇〇の頃の私

「65 年ぐらい前？の私」

杉浦　眞喜子

小学 4, 5 年生の頃だったでしょうか？　私は、父の転勤で函館におりました。1950 年代のその頃は、函館のような地方都市では何でも手に入るということではありませんでした。ちょっと新しい物は、時々東京に出張する父に頼んで買ってきてもらうことになっていました。

その頃「ミルク飲み人形」が流行りだしていましたが、残念なことに函館では未だ売っていませんでした。私は何でこのお人形のことを知ったのか、覚えていませんが、その頃未だテレビはなかったし、多分少女雑誌か何かだったのでしょう。口からミルク（水）を飲ませると、お尻の辺りからおしっこが出てくるというお人形。私は欲しくて欲しくて、母に頼んで東京出張の父に頼んでもらいました。

父は世事に疎く不器用な人でしたので、いつも出張からの帰り母の頼んだ物やお土産などをたくさん買ってきてくれるのですが、よく頼んだ物とは違ったとんでもない物を買ってきては、母に叱られることが多かったのです。なのでその時も、ちゃんと「ミルク飲み人形」を買ってきてくれるか、私は母と心配しながら父の帰りを待ちました。

その時は、嬉しいことにちゃんと「ミルク飲み人形」を買ってきてくれました。それは今まで私が持っていたセルロイドのお人形などとは違って、柔らかい合成樹脂で出来ていて人間の肌のよう、寝かせると目をつぶり、起こすと目をぱっちり開け、勿論お水を飲ませるとすぐに下からジャージャーと。立ったり座ったりもできました。とにかく可愛くて可愛くて。哺乳瓶はついてきましたが、裸だったように覚えています。母が、スリップとパンツ、そして可愛いワンピースを作り、ソックスも編んでくれました。

それからずうっとそのお人形は私と共にいました。ひな祭りの時はお雛様の隣に座り、大人になるまで。いついなくなったか？それはまたいつかお話しますね。

YMCA ニュース

（お知らせ）
５月の早天祈祷会は中止となりました。

編　集　後　記

みなさんからの「ニコニコ」が満載で，４面が一杯になりましたので，ここに編集後記を入れました。次のページもあるので，忘れずに裏もみてくださいね。

コロナ禍がこんなに大変なことになるなんて誰も考えていませんでしたね。例会だけでなく，いろいろな行事が全て中止となり，ブリテン用の記事の材料がなくなってしまい，紙面数を減らしていらっしゃるクラブもあるようです。

でもなかのしまのブリテンは，４ページをキープします。こんな時だから，みんなの心が繋がるようなそんな紙面，作れたらいいなあと思っています。ご協力お願いします。

４月ニコニコメッセージ

－「いかがお過ごしですか」第２弾－

☆ 緊急事態宣言が出たので、西日本区事務所には週１回ペースでの出勤となりました。自宅でテレワークをしています。西日本区大会や役員会が中止になったので、いつもに比べてゆったりしています。でも地下鉄での出勤は怖いです。（生雲）

☆ 総ての行事が中止になり、毎日ニュースを見ては苦痛に思ってる。市内に１名の発病から数名になり、やっぱり恐い。買物は遠回りして、他は殆ど家で過ごす。狭いベランダに花が色とりどりに咲き、トマト、キャベツも元気だ。通り抜けも中止になり、ドローンで撮った見事な花の写真を見て満足させる。コロナが地球上から全滅することを願いつつ。（今井）

☆ 夫が肺気腫なので、息を吐く訓練が必要で、家で大声で歌っています。珍しく今度カラオケにいこうということになりました。さあ、何をうたいましょうか。コロナのおまけです。（江見）

☆ コロナが怖くてあまり外出もできませんが、真如堂へ新緑を見に行ってきました。ちいさな紅葉の新芽が風に揺すられてきらきら、あたりを名残の桜はなびらがひらひら舞って、なんとも夢のような風情でした。私は本堂裏手の静寂な佇まいが大好きで、特に新緑の雨の日は格別です。みなさん、いつの日かぜひお越しやす。（国友）

☆ 自粛という言葉の力を借りて、怠け心が鎌首をもたげ、ウォーキングにも出かけず、三度の食事はしっかり美味しく（もちろん晩酌は欠かさず）頂き、さすがにハラーポッターになってドッキリ。心を入れ替え、ストレッチ、スクワット、ラジオ体操第１・２を録画して気が向いた時に行うと言う日々。ラジオ体操はお勧め！（桑原）

☆ 山田が圧迫骨折悪化で手術入院中なので毎日病院通い、それ以外はほとんど家で「一人での生活」を楽しんでいます。アイロン台をテレビの前に出してきて、アイロンをかけながらいつもはなかなか見ないテレビドラマ（刑事ものなど）を楽しんだりしています。教会もいよいよ「日曜日の礼拝は家庭で」ということになりました。（杉浦）

☆ 春を迎えて喜んでいたら、右半身を痛めてしまいました。３ 月の終わり近く、気分良く毎日カーブスで運動していたら、右半身のお尻ベタを痛めたようです。今は週 2 回右足を守りながら、一駅電車に乗って整形外科通いをしています。あゝ歳はとりたくないですね！（瀬島）

☆ ３月のブリテン配送作業を終えてから、右側の首肩腕が痛くて、痺れ、寝返りが出来ず……。3/30 から毎日整体院に通院し、4/15 ころからやっと痛みが和らいできました。家の中では痛い痛いを連発して、美帆に大袈裟と笑われて、でも不思議なことに運転はできました。（武井）

☆ 教会の礼拝が守られなくなりました。家で礼拝をします、できるかな？　ゆうハウスもお休みになりました。（美帆）

☆ 普段やらないようなお菓子作りしてます。アイスクリームやらタルゴナコーヒーやらスフレパンケーキやら……。体重計は乗らない主義です。YouTube の動画でかなりイロイロやってますよ。（鳥居）

☆ テニスは外でしていますのに緊急事態宣言が出たため、即その日から５月６日まで中止です。自宅にばかり居ますので緑道を歩いてみると、多くの方が歩いていました。コロナのために歩いているのか、ただいつもどおりなのか分かりません。私は今日も散歩に行こうと思っています。気持ちがいいですし、楽しいです。（藤井）

☆ お昼を食べたとたんにタ飯を考える毎日でバタバタしていますが、スマートフォンとパソコンを買い替えました。気分一新！四苦八苦しながらもチャレンジしています。働かない頭をフル回転しているのですが思うようにはかどりません。慣れるまでひたすら新機種と格闘していたら、窓から見える桜がはらはらと散り始めました。（藤好）

☆ まだ皆さまとお会いできておりませんが、近況をお知らせいたします。私は週 1 日をテレワークとし、その他の日は学校に出勤をしております。授業再開がいつになるかやきもきしながら、オンライン授業のスタートに向けて、どういった内容の授業を学生に提供できるかを教職員で考え、準備する日々を送っています。（古谷）

☆ ずっと引きこもりばあさんですが、リハビリで歩かないといけないので散歩は３密じゃないので毎日家の周りを 3000 歩くらい歩いています。マスクに帽子、サングラスという怪しい格好で。杖はもっていきますがほとんど使わないようにしています。リハビリだから。おかげ様で秋のけがは完治したようです。（保田）

☆ 緊急事態宣言の後、出勤する人に対して非難の目が。でも外からは見えない、知られないところで出勤せざるを得ない理由はあるのですよね。猛烈に忙しいスタッフとともに、ずっと仕事しています。（山佐）

☆ 隣接している中学校と病院の染井吉野桜が咲き、毎日マーケットに食料品を買いに出掛けて楽しみに見ています。こんな良い季節にテレビ放映はコロナのことばかり。中学校の藤棚にもうすぐ紫の花が咲きます。一年で一番いい季節に三密を守り、緊急事態宣言が発令されてつまらない。いつまで続くのかコロナは？（吉岡）

☆ 目下の悩みは、体重の増加です。Facebook で『コロナ支援・訳あり商品情報グループ』に招待され、イベント中止や閉店による仕入れ減少の為に売れずに困っている、美味しいもの・綺麗なお花などが出品され、誘惑がいっぱいです。味覚が失われていないのは、ウィルスに感染していない証拠と捉えて、ウエストサイズを測るのを止めました。（吉田）

☆ 日三度食事の支度、それだけでも時間は過ぎている。自宅籠りと思っている今は、インスタや FB に投稿する気が無くなった。話題が無くてじゃなく、やはり特別な意識の時を過ごしているんだと感じている。活き活き動的にその日を生きている時と違って、今は静かに深く生きようとしている。（和田）